



古河地区ケアマネだより

第 82 号

茨城県介護支援専門員協会古河地区会

事務局:古河市社会福祉協議会

令和 8 年 1 月発行

TEL:0280-47-0150

FAX:0280-48-0265

HP URL:http://www.koganet.ne.jp/~care/

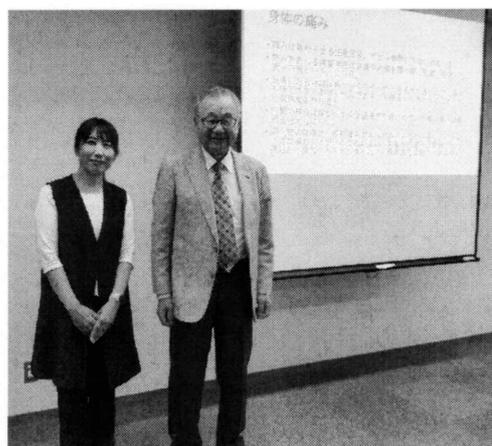
令和 7 年度茨城県介護支援専門員協会古河地区会 第 2 回研修会

令和 7 年 1 月 15 日 (土) に茨城県介護支援専門員協会古河地区会第 2 回研修会が開催されました。

研修テーマは、「ケアマネに役立つ薬剤と医療の知識」として古河市薬剤師会の後藤沙矢香先生より「ケアマネジャーに役立つ薬の知識～心不全について」および古河地区会顧問の赤荻榮一先生から「ケアマネジャーに役立つ医療の知識」としてご講演をいただきました。

当日は、45名のケアマネジャーの方々にご参加いただきました。

以下に要約します。



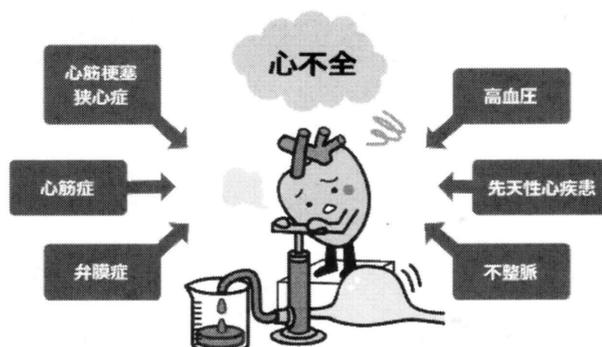
ケアマネジャーに役立つ薬の知識～心不全について

心不全とは？

心臓のポンプ作用が低下し、心拍出量低下、低下、末梢循環不全、肺、体循環のうっ滞を起こす病態のこと。

心不全の原因

- 虚血性心疾患：高血圧、心筋梗塞、狭心症
- 弁膜症：心臓の弁膜に異常が起きる
- 心筋症：心臓の筋肉に異常が起きる
- 不整脈：脈が異常に乱れる



心不全治療における服薬の重要性

- 薬剤治療により、息切れやむくみなどの症状を和らげ、再入院を防ぎ予後の改善を目指す。
- 症状が改善した後の日常生活で、服薬を維持できるかが重要。
- 患者に何のための薬なのかを理解してもらったり、飲み忘れないためのサポート、服薬支援も大切（一包化や服薬カレンダーの活用）。

心不全の治療薬

利尿薬	○体内の余分な水分を排出 ○息苦しさやむくみを緩和	ラシックス、サムスカ、 トラセミド、アゾセミド他
ACE 阻害薬	○心臓を保護する	レニベース、プロプレス他
SGLT2 阻害薬	○体内に溜まる水分を減らして心臓への負担を減らす	フォシーガ、ジャディアンス、スーグラ他
β 遮断薬	○心臓の動きをゆっくりにして休ませる	アーチスト、カルベジロール、メインテート他
ARNI	○心臓に負担をかける物質を抑える ○心臓を守るホルモンの働きを強める	エンレスト
抗アルドステロン薬	○塩分、水分バランスを調整する	アルダクトン、ミネプロセララ他

※FANTSTIC FOUR (ファンタスティック フォー)

ARNI、β 遮断薬、SGLT2 阻害薬、MRA (ミネラルコルチコイド受容体拮抗薬) の併用が全死亡、心血管死亡、心不全入院のリスクを最も減少させる。

ケアマネジャーに役立つ医療の知識

不整脈 結滞：脈が飛ぶ、抜ける 期外収縮：心房性、心室性があり9割は心配なし
心房細動：心臓内に血栓ができて他臓器に血栓症を起こす
高度ブロック：伝導が途切れ心停止に繋がる可能性あり
多発性心室性不整脈：心室細動から心停止に繋がる

心不全 うっ血性心不全

慢性心不全で心臓と静脈系のうっ血を起こし、心拡大、易疲労、食欲低下、浮腫、チアノーゼ、呼吸困難、肺水腫、肝腫大などが起こる。
 心臓の拍出力と予備力がともに低下し、必要な血液量も供給できない状態。

尿の異常 多尿：1日 2500 ml以上。水分摂取過多、糖尿病、脳下垂体ホルモン異常などが原因

排尿の異常 頻尿：男性は前立腺肥大症、女性は骨盤底筋筋力低下が原因

意識消失 失神：一時的で血圧低下や刺激伝導系の障害等による血流減少や、迷走神経反射による脳血流低下

昏睡：重度の頭蓋内病変や代謝性疾患による事が多い。

薬物中毒：原因不明の急性昏睡の70～80%

てんかん大発作：意識障害を伴う全身性けいれん発作

めまい 内耳性めまい：めまいの6割を占め回転性や不動性がある。眼振や悪心嘔吐を伴う事もある。

メニエール病：内耳性めまい、耳鳴り、難聴が起こる耳疾患。

脳性めまい：脳卒中、脳腫瘍による不動性めまいで、脳神経症状を伴う。

血圧低下や脳血流低下によるものでは立ちくらみや失神も伴う。

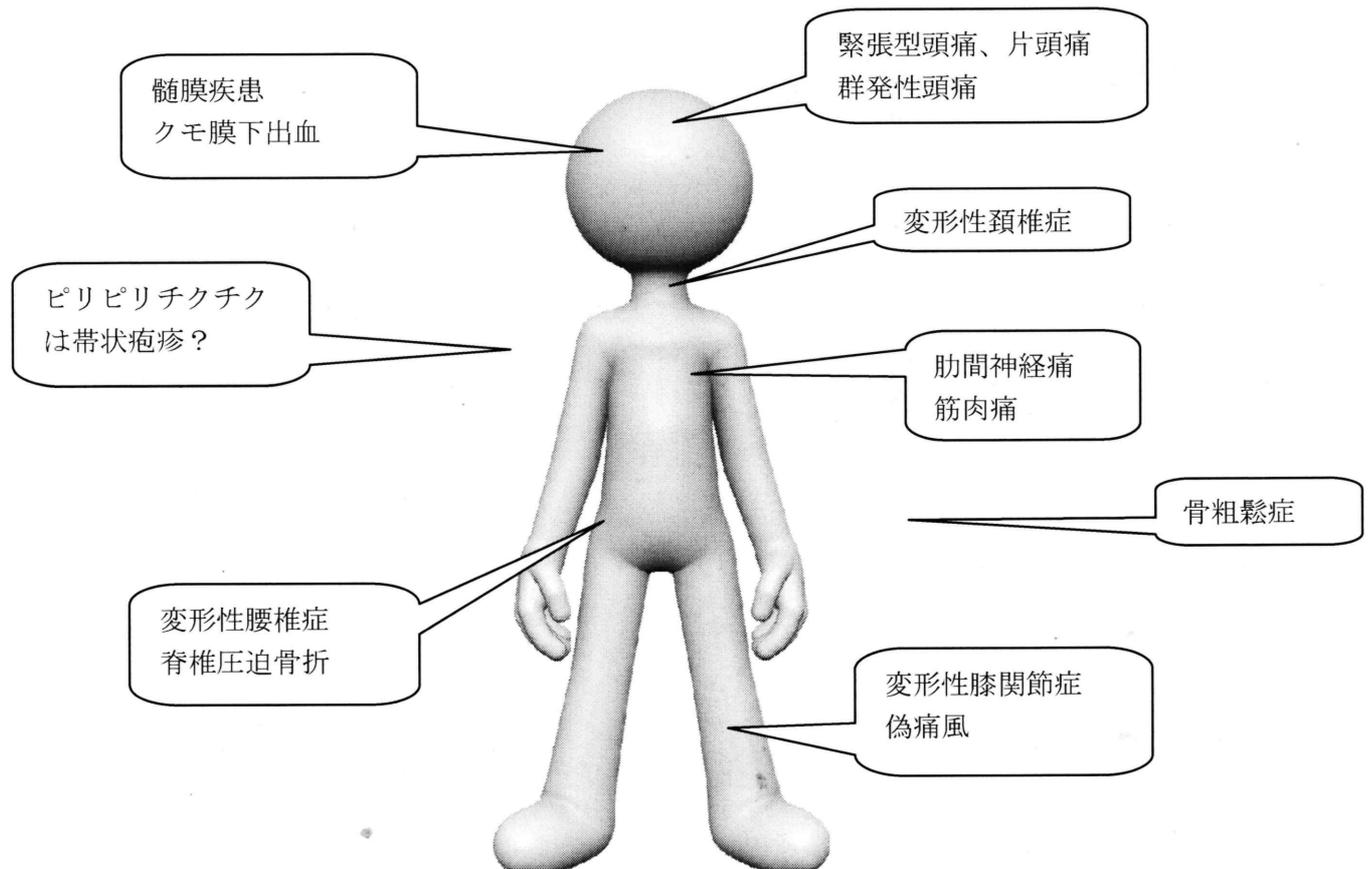
肺炎 肺炎球菌によるものが多く薬剤耐性率が高いので予防には肺炎球菌ワクチンが有効

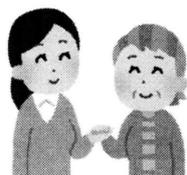
認知症 アルツハイマー型、血管性、レビー小体型、前頭側頭型、その混合も多い。

抗認知症薬は治すものではなく、進行を遅らせる薬である。

暮らしやすい良い環境をつくるなどのサポート体制づくりが重要。

身体の痛み





お知らせ

令和7年度在宅医療・介護に関する市民向け講座

タイトル：介護保険で支える「その人らしい最期」-家族と叶えた看取りのかたち-
日 時：令和8年2月20日（金）午後2時～午後3時30分
場 所：共和電設とねミドリ館

上記の内容で、古河地区会より木村副会長と佐藤幹事が看取りに有効な介護サービスと実際に関わったケースをもとに講師を務めます。



ケアマネジャーの仕事に就いて

今年の7月から居宅介護支援事業所ばんどで勤務させていただいております。前職は通所介護事業所勤務で、利用者の方々と接する事が多かったのですが、居宅ケアマネジャーに転職し、多岐にわたる業務内容や、責任の重さに戸惑う事もありました。未経験で右も左も分からない私に、先輩ケアマネジャーの方々が、利用者・家族との接し方など、一から丁寧に教えてくださいました。先輩方のご指導やご助言を頂き、沢山フォローしてもらいながら少しずつ成長してこられたように思います。

今では事業所での意見交換や先輩方の経験談、何気ない雑談がとても楽しく、勉強になっています。これからも、先輩方や関連事業所のお力添えを頂き、利用者一人一人に寄り添ったケアマネジメントができるように日々精進していきたいと思っております。

居宅介護支援事業所ばんど 神山夏

【編集後記】

今回のケアマネだよりは、日頃のケアマネ業務にも関係する薬と医療について古河市薬剤師会の後藤先生、市ケアマネ会顧問で福祉の森診療所の赤荻先生をお招きしてお話を伺いました。

後藤先生の講和では、心不全での薬剤がテーマで治療や予後、そして包括的サポートの重要性を学びました。赤荻先生からは、人体機能のシステムや疾患の予防法などを幅広くご教示いただき楽しく学ぶことができました。

これからも、高齢者のその人らしい生活をサポートするために、医療と介護それぞれの知識を活かし連携を図る事の必要性を一層感じる研修となりました。